

平成25～27年度
「小学生外国語活動・
異文化体験活動充実事業」
成果報告書

—平成28年3月—



福島県教育委員会
Fukushima Prefectural Board of Education

目次

本事業について

| | | |
|-------------|-----|---|
| はじめに | --- | 1 |
| 本事業の目的 | --- | 2 |
| 3年間の事業を通して | --- | 3 |
| 本事業推進校と運営体制 | --- | 4 |

ライブ授業

| | | |
|-----------------------|-----|----|
| ライブ授業概要 | --- | 5 |
| ライブ授業年間カリキュラム | --- | 6 |
| 児童アンケート結果から見えるライブ授業総括 | --- | 8 |
| ライブ授業についての教師の評価 | --- | 11 |

異文化体験活動(宿泊研修)

| | | |
|---------------------------|-----|----|
| 平成27年度異文化体験活動(宿泊研修)の概要 | --- | 12 |
| 平成27年度異文化体験活動(宿泊研修)の評価と考察 | --- | 13 |
| 平成27年度異文化体験活動(宿泊研修)のまとめ | --- | 17 |

教材・検定

| | | |
|--|-----|----|
| 自主学習をサポートする学習教材(BE-GO)・ アセスメント受検(BE-GO検定) | --- | 19 |
|--|-----|----|

まとめ

| | | |
|------------|-----|----|
| 3年間の事業を通して | --- | 20 |
|------------|-----|----|

資料

| | | |
|------------------------|-----|----|
| 資料 プレゼンワークシートの一例 | --- | 22 |
| ライブ授業・異文化体験活動(宿泊研修)の様子 | --- | 24 |

はじめに

小学校に外国語活動が導入されて、間もなく5年が経過しようとしています。先生方におかれましては、子どもたちの英語学習への興味・関心を高めるべく、日々、授業の充実に取り組んでいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、平成25年12月に文部科学省から「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」が公表されましたが、その中で「小学校中学年に英語を活動型として導入すること、高学年に教科として位置付けること」が盛り込まれ、我が国の英語教育はグローバル化に対応すべく一気に加速しております。県教育委員会といたしましても、第6次福島県総合教育計画を改定し、その施策の一つである「国際化の進展に対応できる人づくり」に基づき、国際社会において主体的に行動できる人づくりを進めるため、児童生徒のコミュニケーション能力を高めることを目的とした語学指導等の充実に努めているところです。

平成25年度より3年間にわたり展開してまいりました本研究実践は、その中心となる事業であり、今後の小学校外国語活動のニーズの高まりに対する、まさに先進的で実践的な取組です。事業推進4校におかれましては、インターネットを効果的に活用した外国語活動の授業実践、学習教材の活用、そして、外部施設における異文化体験活動及び全体勉強会への参加、アセスメント受検等、一つ一つ丁寧に取り組んでいただきました。

事業最終年度である今年度は、その成果を県内全域に普及するために、インターネットを活用したライブ授業の授業案や授業で使用した教材を義務教育課webサイトから配信するとともに、子どもたちの活動の様子を収録したDVD及び成果報告書を作成いたしました。今後、小学校外国語活動は、さらに注目を集め、その充実が求められます。ぜひ、子どもたちの英語力向上のためにご活用いただきたいと思います。

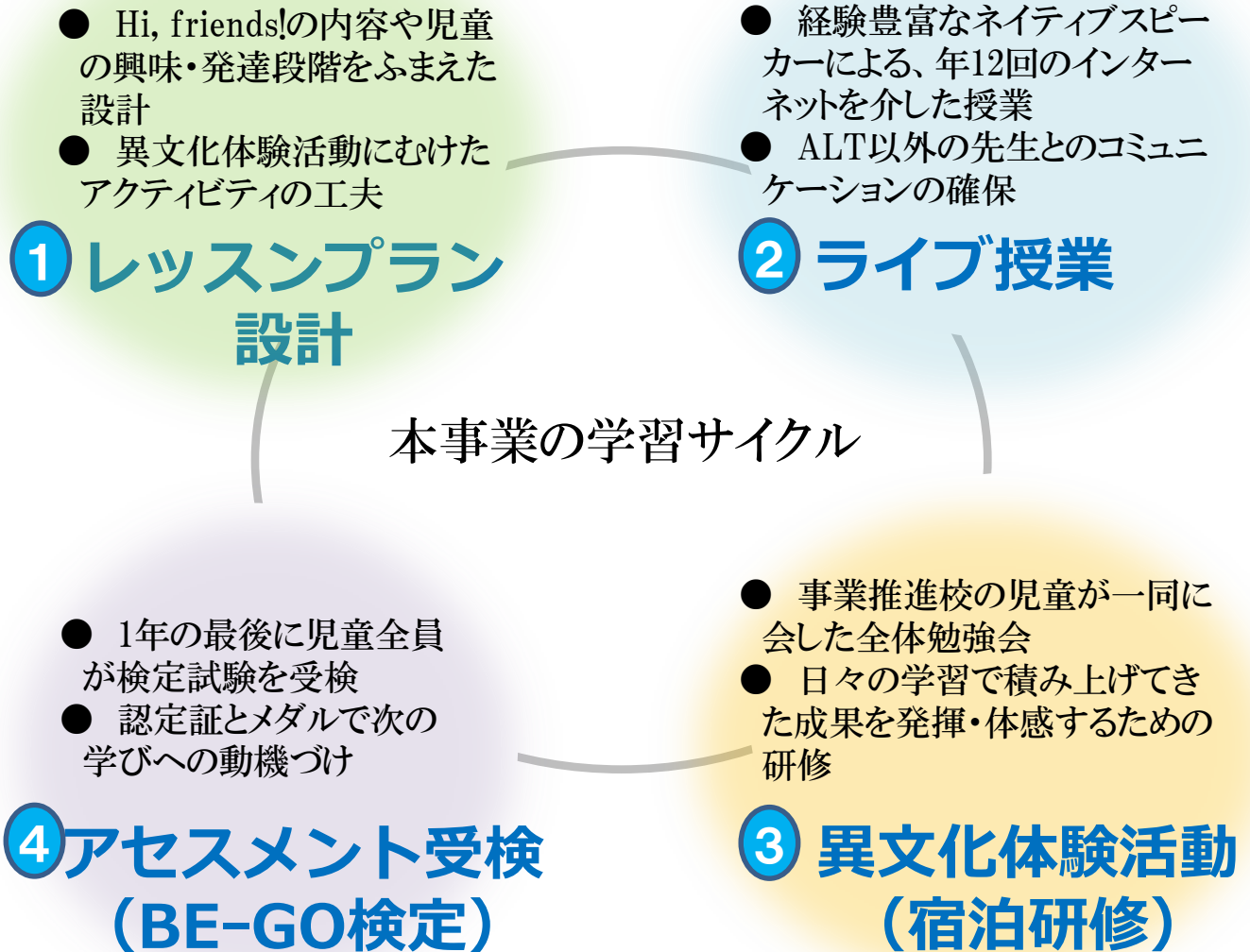
結びに、事業推進4校及び本事業を成功に導いてくださった関係者の皆様に感謝いたしますとともに、いわき市並びに川内村において、英語教育がますます充実・発展しますことを祈念いたしまして、あいさつとさせていただきます。

平成28年3月

福島県教育庁参事兼義務教育課長 飯村 新市

本事業の目的

学習指導要領の改訂に伴い、小学校高学年に「外国語活動」が導入され、中学校・高等学校で育まれるコミュニケーション能力の「素地」を育む授業が展開されている。また、「福島県復興ビジョン」にも福島県の未来を担う子どもを育成する視点として、幅広い視野や国際感覚を身に付けさせることが求められている。そこで、民間事業者のノウハウを活用し、初めて外国語に触れる小学生を対象として、外国語の学習や異文化体験を通して、コミュニケーション能力の素地を育成するとともに、国際感覚を養うことにより、未来を担うふくしまの子どもを育成する。



3年間の事業を通して

3年間を通して、以下のような成果と課題が明らかとなった。

【成果①】

学校・委託業者の協力体制のもと、

- 「レスンプラン設計」
- 「ライブ授業実施」
- 「異文化体験活動(宿泊研修)での成果実感」
- 「検定で自信」

という【英語力を向上させるためのサイクル】を確立し、前年度の課題を踏まえながら年々質を高め、3年間積み重ねることができた。その結果、子どもたちの「英語への興味・関心」「英語学習への意欲」「成果実感」が高まってきたと言える。

【成果②】

ALTがいない地域にも提供できる、ネイティブスピーカー講師による授業実施モデルを確立できた。また、担任教師がネイティブ講師と児童とをつなぐコーディネーターとして授業を進めたことで、英語の教科化を見据えた小学校教師の英語授業運営の「研修」的な役割を果たすこともできた。

<課題①>

学校・委託業者間での連携をより深めることで、ライブ授業や異文化体験活動をよりスムーズにできるものと考えられる。

<課題②>

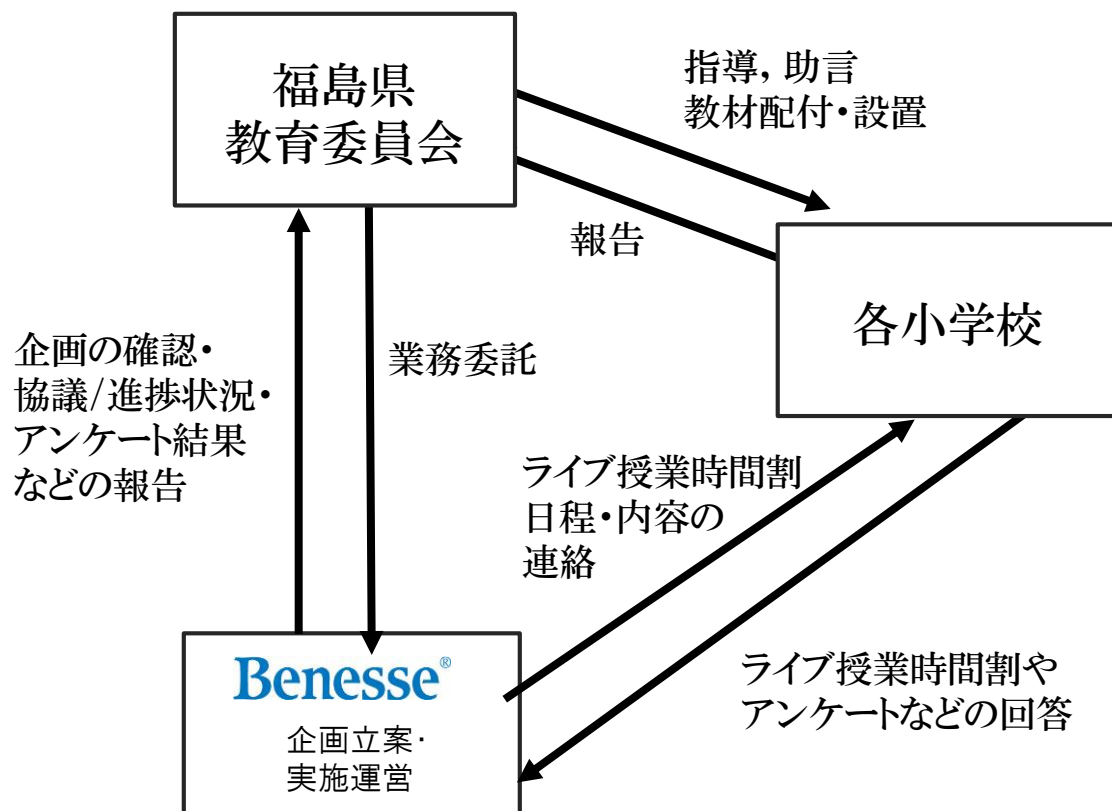
ライブ授業中に回線が途切れることがあった。安心できるライブ授業の実現には、インターネット環境やICT設備の充実が望まれる。

本事業推進校と運営体制

1 本事業推進校

| 参加年度 | 学校名 | 対象学年 |
|-------------|---------------|----------------------------|
| 平成25年度～27年度 | いわき市立久之浜第一小学校 | 5・6年 |
| 平成25年度～27年度 | いわき市立久之浜第二小学校 | 5・6年 |
| 平成25年度～27年度 | いわき市立豊間小学校 | 5・6年 |
| 平成27年度 | 川内村立川内小学校 | ライブ授業:3・4年 異文化体験活動:5・6年 |

2 運営体制



異文化体験活動施設協力:ブリティッシュヒルズ

ライブ授業概要

3年目となる今年度は、これまで以上に学習効果を高められるよう以下の点を重視した。

- 学校の年間授業計画に沿った「年間カリキュラム」を作成
- Hi, friends!で用いる「表現・語彙」等、学習内容を考慮した指導を実施

1 授業のねらい

- 英語で自分の気持ちを伝え、わかり合う楽しさを味わわせる。
- ALTとは異なる講師を通して、異文化に対する興味や英語をもっと学びたいという意欲を高める。

2 形態・・・ネイティブスピーカー講師1名と1教室をつなぐ

- Web会議システム「VQSコラボ」(オサムインビジョンテクノロジー社製)を使用し、インターネット回線で講師のいるスタジオと教室をつないでライブ授業を行う。
- 講師の映像は、教室にプロジェクタ等で投影する。
- 全員での発話の他に、マイクを通して講師と会話をする機会も設定する。
- 担任教師は、児童が積極的に授業に参加できるようサポートする。

3 回数・・・45分授業を隔週～月1回の頻度で実施

5・6年生は年間12回程度、3・4年生は年間8回程度の授業を実施した。

<実際の授業の様子>



ライブ授業年間カリキュラム(5・6年生)

小学校外国語活動教材「Hi, friends!」で学ぶキーフレーズをベースとした、本事業専用のオリジナル授業カリキュラムを作成した。

今年度はこれまで好評だった「異文化理解」のパートに加えて、新たに異文化体験活動(宿泊研修)と連動したカリキュラムを設けた。

| | ライブ 授業 回数 | メインカリキュラム 5年生 | メインカリキュラム 6年生 | 異文化 ※5・6年生共通 | 宿泊研修へ向けて ※5・6年生共通 |
|-----|-----------------|---|---|--|--|
| | 1回目 | <ジェスチャー> 感情を表す英語 | <アルファベット> アルファベットの 大文字・小文字認識 | <日本との違い>:名前 Family Name First Name | <あいさつをしよう> 新しい友達と 出会ったときのあいさつ |
| 7月 | 2回目 | <数> 1-20 | <誕生日> My birthday is ~. 月 / 日 | <日本との違い>:年齢 運転/結婚 | <数を聞いて分かれよう> 指定の人数に合わせた グループ分け |
| 9月 | 3回目 | <好きなもの:食べ物> I like ~. | <できることを紹介> I can ~. 動作動詞 | <世界を知る>:衣装 各国の正装 | <先生の指示を聞こう> 体を使って先生の指示を 聞いて動こう |
| | 4回目 | <好きなもの> What do you like? 食べ物・果物・TVなど | <道案内1> Turn right.など 建物の名前 | <日本との違い>:マナー 世界とのマナー | <マナーを知ろう> みんなでごはんを食べる 時のマナーを知ろう |
| 10月 | 5回目 | <ほしいもの> What do you want? ハンバーガーショップ たべものの単語 | <道案内2> 前回の応用 いわきMap | <日本との違い>:食べ物 世界のハンバーガー | <買いものをしよう> 買い物をする時の あいさつやりとりをしよう |
| | 6回目 | ★ハロウィンイベント | <行きたい国は?①> 国の名前、プレゼン テーション導入 | <世界を知る>:イベント ハロウィンイベント を紹介 | <自己紹介をしよう> 宿泊研修で初めて出会う友 達に、自分のことを伝えよう |
| 11月 | 7回目 | <時間の表現> What time is it? いま、何時? | <行きたい国は?②> You can see/eat ~. プレゼンテーション 準備&発表1 | <世界を知る>:教育 プレゼンを練習して いることを紹介 ※9回目 Show and Tellの 予告。フレーズ導入 | <入国審査の練習> パスポートを準備して 入国審査を練習しよう |
| | 8回目 | <これは何?> What's this? クイズ大会 | <行きたい国は?③> I want to go ~. プレゼンテーション 発表2&投票 | | <Show and Tell> 友達の発表を聞こう -自分の宝物- |
| 12月 | 9回目 | ★クリスマスイベント | <一日を紹介> 宿泊研修の一日を シミュレーション | <世界を知る>:イベント クリスマスを紹介 | <一日を紹介> 宿泊研修の一日を シミュレーション |
| | 宿泊 研修 | | | | |
| 1月 | 10回目 | <比較する> Which is ~? ★どっちが~? | <友達のいいところを プレゼン> 形容詞 | <世界を知る>:イベント 世界のお正月 | <Thank you カードを書こう> 宿泊研修でお世話になった 先生に手紙を書こう |
| | 11回目 | <勉強する:時間割> I study ~. 教科の名前 | <友達のいいところを プレゼン> グループ発表 | <日本を知る>都道府県 面積比べ | |
| 2月 | 12回目 | <食べたいもの:食べ物> What would you like? | <将来の夢> I want to be ~. | <日本との違い>:職業 なりた職業 | |

ライブ授業年間カリキュラム(3・4年生)

3・4年生向けには発達段階に合わせて、全体を「異文化理解」と「メインカリキュラム」の2パート構成とし、じっくりとアクティビティに取り組めるようにした。

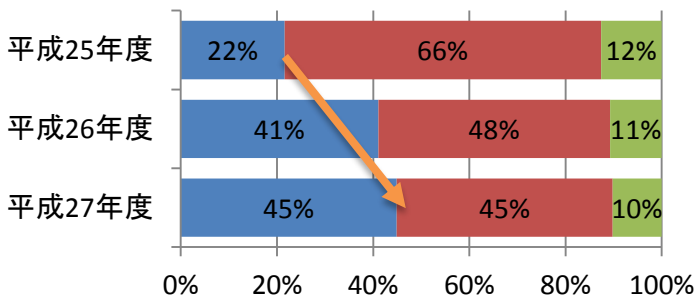
| ライブ授業回数 | テーマ | メインカリキュラム | キーフレーズ・キーワード |
|---------|-------------------------------|--|---|
| 1回目 | Introduction (自己紹介) | 初めて会う相手との関係性を作る。 あいさつや自己紹介の英語にふれる。 | ▼フレーズ Hello. My name is ~. Nice to meet you. I like ~./ I don't like ~. |
| 2回目 | Foods (食べもの) | 食べ物をテーマに相手の好きなものを質問する表現、自分の好きなもの・嫌いなものを表現する英語にふれる。 | ▼単語 野菜: carrot / egg / lettuce / tomato / pumpkin 果物: apple / banana / mango / strawberry 等 ▼フレーズ What food do you like? I like ~. / I don't like ~. |
| 3回目 | Animals (動物) | 動物をテーマに相手に好きかどうかを質問する表現、自分の好き・嫌いを表現する英語にふれる。 | ▼単語(動物) dog / rabbit / pig / cat / monkey / elephant / giraffe ▼フレーズ Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't. |
| 4回目 | Halloween (ハロウィン) | ハロウィンの文化にまつわる物の英語やフレーズにふれながらイベント的な雰囲気を楽しむ。 | ▼単語 Jack-o'-Lantern / monster / witch / ghost / bat / black cat ▼フレーズ Trick or treat ! |
| 5回目 | I can ~. (できること) | 世界の面白い誕生日の祝い方を知り、生き物をできないで分類して楽しむ。 | ▼単語(動詞) run / walk / swim / fly / jump / sleep / sing / skip ▼フレーズ Can you ~? I can ~. / They can ~. |
| 6回目 | Merry Christmas! (クリスマス) | 世界のクリスマスケーキについて知り、サンタの手伝いをする。 | ▼単語 reindeer / hat / gloves / presents / sleigh ▼フレーズ Do you have ~? Yes, I do. / No, I don't. |
| 7回目 | I want to go to ~. (行きたい国) | 世界の国旗を題材に行きたい国に思いをはせる。 | ▼単語 want / 国名 ▼フレーズ I want to eat / see / ride ~. |
| 8回目 | I want to be ~. (~になりたい) | 将来どんな職業に就きたいかを英語で言う。 | ▼単語 soccer player/florist/beautician/doctor/architect 等 ▼フレーズ I want to be ~. |

児童アンケート結果から見えるライブ授業総括

1 英語学習への興味・関心

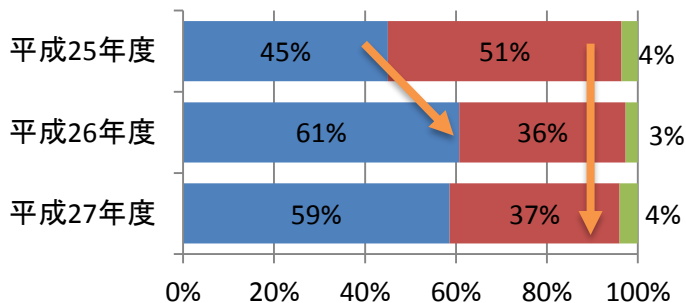
Q 英語が好きですか？

■とても好き ■まあ好き ■あまり好きではない



Q 英語の勉強は楽しいですか？

■とても楽しい ■まあ楽しい ■あまり楽しくない



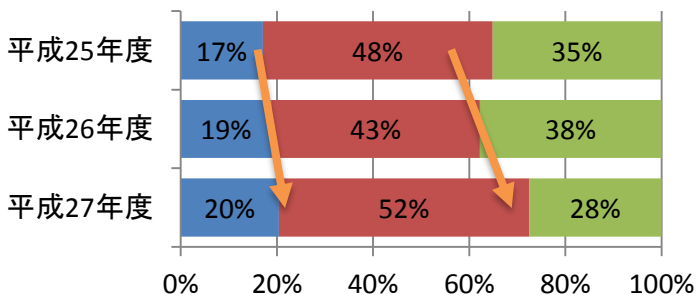
英語が「とても好き」だと思う児童の割合が年々増加している。
英語学習が「とても楽しい/まあ楽しい」と感じる児童は、合わせて9割を超えている。

⇒ ライブ授業により英語に触れる機会が通常よりも増えたこともあり、英語そのものに対する興味が高まっていると言える。

2 英語学習を将来に活かす意欲

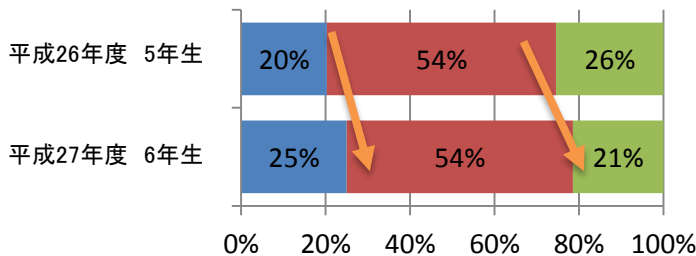
Q 将来、世界で活躍する人になりたいと思いますか？

■とても思う ■まあ思う ■あまり思わない



同じ児童の回答比較
(平成26年度5年生→平成27年度6年生の変化)

■とても思う ■まあ思う ■あまり思わない



「将来、世界で活躍する人になりたい」と考える児童が毎年増加している。
同児童どうしの平成26年度→平成27年度を比較しても増加傾向がみられる。

⇒ 今年度、ライブ授業と宿泊研修のカリキュラムを連動させたので、児童は授業で学んだことを実際の外国人相手に活用することができた。そのため英語の活用実感が生まれ、将来に対する意欲を醸成できたと考えられる。

3 成果(身に付いた技能)の実感

Q 英語でどんなことができますか？

| | | 5年生 | | 6年生 | |
|-----|-------------------------------|----------------|--------|----------------|--------|
| | | ガイダンス時 (6月) | 最終(2月) | ガイダンス時 (6月) | 最終(2月) |
| 話す | 英語であいさつができる | 87% | 89% | 97% | 100% |
| | 英語で自己紹介ができる | 82% | 83% | 86% | 98% |
| | 英語を口に出すことになれている | 7% | 21% | 22% | 46% |
| | 英語で質問ができる | 13% | 34% | 54% | 72% |
| | 英語で質問に答えることができる | 13% | 47% | 54% | 74% |
| 聞く | 先生の英語の指示にしたがって、うごくことができる | 27% | 34% | 29% | 61% |
| | 英語のまとまった話(スピーチなど)を聞いてわかる | 4% | 17% | 10% | 25% |
| 読む | アルファベットの大文字すべてを読める | 36% | 64% | 80% | 90% |
| | アルファベットの小文字すべてを読める | 24% | 36% | 51% | 67% |
| 書く | アルファベットの大文字すべてを何もみないで書ける | 27% | 51% | 58% | 77% |
| | アルファベットの小文字すべてを何もみないで書ける | 9% | 26% | 34% | 43% |
| | 英語の言葉(ものの名前など)を10個よりたくさん書ける | 18% | 36% | 24% | 34% |
| 語彙力 | 英語の言葉(ものの名前など)を10個よりたくさん知っている | 33% | 77% | 66% | 90% |

※全体に占める「できる」と回答した児童の割合です。
※10ポイント以上増加しているものに色付けています。

「話す・聞く」のアクティビティ例

- ・ 自己紹介 (Hello! / My name is ~. / Call me ~. / Nice to meet you. 等)
- ・ 質問文 (What ~ do you like? I like ~. / Can you ~? Yes, I can. /
Do you like ~? Yes, I do. / What do you want? ~ please. 等)
- ・ 道案内やプレゼンテーションの練習

上記などをライブ授業のアクティビティとして実施

「読む・書く」のアクティビティ例

- ・ キーフレーズはすべてアルファベット (カタカナ読み併記なし) で記載して、掲示物やワークシートを提供
- ・ レッスン内でアルファベットをワークシートに記入する機会を設定

右図：
英単語を記入するワークシートの例
(6年生 友達の名前と形容詞 <kind, gentle等>
をアルファベットで記入する。)

⇒ 6月のガイダンス時と比較しても、英語4技能や語彙力などについて「できるようになった」と実感している児童が増加している。
「話す・聞く」「読む・書く」のいずれの技能もライブ授業内で繰り返し取り扱ったことにより、効果実感が高まっていると考えられる。

Q 特にどのような場面で「英語ができるようになった」と思いましたか？

(ライブ授業・日常生活を通しての実感)

フリーアンサーから抜粋

- ライブ授業の先生と会話を初めよりできるようになった。
- インターネットライブ授業でたくさんの英語ができるようになった。
- 先生の質問などをすぐに受け答えできるようになったことです。
- 「何が好きですか？」は前はズーっと言えなかったので「何が好きですか？何は好きですか？」を英語で言えるようになりました！！
- 質問の仕方など、会話などができるようになった。
- 自分の名前を発表したりしてできるようになったので良かったです。
- 会話が上手に出きたこと。先生の話していることを少しわかるようになったこと。
- 友達に英語を教えられるぐらい上手くなったこと。

(宿泊研修を通しての実感)

- 突然外国人の先生から話しかけられたけど、あわてず答えることができた。
- 食事中にできたと思った。
- 外国の人があいさつをした時に気軽にこっちもあいさつができた時。
- 英会話レッスンで「レフト」「ライト」などの移動がほぼ間違えずにできたところで英語ができるようになったと思った。
- 英会話レッスンの時に、自己紹介みたいなのをやった時に、英語ができるようになった。

⇒ 通年のライブ授業を通して、子どもたちは今までできなかったことができるようになったという実感を持つことができたと言える。

⇒ 宿泊研修の生活面・学習面ともに、「ライブ授業での学習が活かされた」と実感できる場面を生み出すことができたと言える。

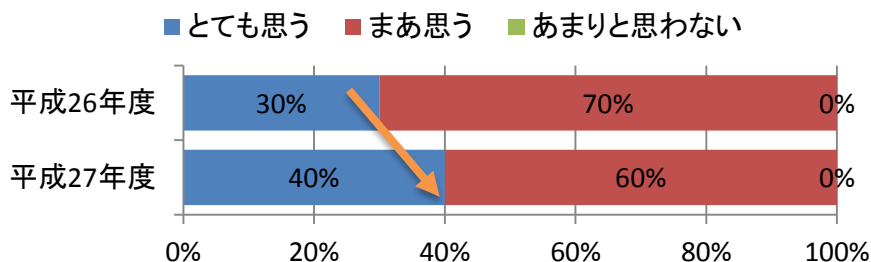
教室ではこんなエピソードも... (事業推進校クラス担任のコメントより)

あるライブ授業の中で、それぞれの食文化に触れる機会があった。その中で「肉まん」という言葉が子どもたちから出てきたが、英語には肉まんという言葉はない。そこで子どもたちは何とか先生に説明しようと、知っているフレーズをつなぎ合わせて話し始めた。「肉ってなんて言うんだっけ？」「ミートじゃない」「中に入っているから・・・」「イン ミート！」「回りは柔らかいから・・・」「ソフトイン ミート？」等。実によい場面だと思った。決して正しいフレーズではないが、自分達の知っている単語を組み合わせることで、その内容を相手に伝えることができるのだと実感できた場面だった。

ライブ授業についての教師の評価

1 教師が実感した児童への学習効果

Q 今年受けたインターネットを通じてのライブ授業や宿泊研修で、英語ができるようになったと思いますか。



⇒ 昨年度と比べても、教師の効果実感も高くなっている。

年間でのライブ授業を通して、

- 英語そのものを身近に感じ、好きだと感じる気持ちの醸成
- 英語が日常的に存在する環境づくり
- 英語の活用実感の向上

を実現し、結果として

- 将来、世界で活躍したいと考える素地を作り出すことができた。

またALTとは異なる授業形態により、「担任教師による英語の授業運営」を成功させるモデルともなったと言える。

子どもたちの変化について (事業推進校クラス担任のコメントより)

ライブ授業は元気に盛り上げてくれる外国人の先生に乗せられて、ノリノリで会話を楽しんでた。2年目になると慣れてきたのか、既習の単語や相手の表情、ジェスチャーで何を聞いているのか何となく分かるようになってきたという子どもたち。何の障がいもなく吸収する小学生たちに計り知れない可能性を感じた。

3年間を通して、子どもたちの一番大きい変化は「日常でも英会話を使うようになったこと」である。ライブ授業で習ったフレーズや覚えた単語を教室内で使うようになった(例: What do you want? / Yes, I do. 等)。また、最初は緊張して何を話しているのか分からず、ただ繰り返して話すだけであったが、慣れるにつれて何を話しているのか、どういう意味なのか考えて話すようになった。授業を担当してくださった外国の先生の力もとても大きかった。日本語、英語というくりではなく、「会話できる言葉」としての英語を楽しむようになっていった。

平成27年度異文化体験活動(宿泊研修)の概要

1 ねらい

外国語で積極的にコミュニケーションを図りながら、言語や文化について体験的に理解を深めることができる外部施設において、推進校第5・6学年児童全員による体験学習を行う。

2 日程

平成27年12月15日(火)～16日(水) 1泊2日

3 行先

ブリティッシュヒルズ

(福島県岩瀬郡天栄村大字田良尾字芝草1-8)

4 旅程

<1日目 12月15日(火)>

学校出発(9:20)ーブリティッシュヒルズ到着(11:15頃)

【実施アクティビティ】

模擬入国審査、学校混合チームでの自己紹介、
体験活動(買い物体験、館内ツアー、英会話レッスン 等)

<2日目 12月16日(水)>

【実施アクティビティ】

学校混合チームでの英語プレゼンテーション
「日本を紹介しよう」

ブリティッシュヒルズ出発(13:30)ー学校到着(16:00頃)



5 参加者数

| 学校名 | 5年 | 6年 |
|----------|-----|-----|
| 久之浜第一小学校 | 25 | 34 |
| 久之浜第二小学校 | 4 | 6 |
| 豊間小学校 | 17 | 22 |
| 川内小学校 | 5 | 5 |
| 合計 | 51名 | 67名 |

平成27年度異文化体験活動(宿泊研修)の評価と考察

前年度までの成果を生かし、課題を改善すべく今年度は主に以下を実行した。

① 一人一人の英語の使用機会を増やす

ネイティブの先生と触れ合う児童一人あたりの時間が多くなるようチームの構成人数を減らした。

② チーム内の交流をより深める

最初にアイスブレイクの時間を設け、同じチームで2日間、食事と全アクティビティを共にした。

③ 日々の学習との連動を強める

宿泊研修で役立つ表現やプレゼンの練習をライブ授業などで予め行った。

④ 個別アクティビティ、全体の流れの改善

2回目となる6年生も学習効果を感じられるように、また昨年の課題を解決できるように個別アクティビティを改変した。またプログラム全体の流れや構成を見直し、スタッフの連絡を密にした。

児童の声：

- ・ 去年と比べると、アクティビティーはとても楽しかったです。

フリーアンサーから抜粋

教師の声：

- ・ 昨年と比較して4月～12月の普通の学校での学習の延長上に今日の体験がある感じ。練られたアクティビティだったと思う。
- ・ ライブ授業でやってきた事が今日活かされたのでとても良かった。
- ・ 昨年度よりも内容はとても充実していたように思う。

⇒ 昨年度よりも児童・教師共に満足度や成果実感があがったと言える。

▼実施内容.....

1 入国審査

到着後、税関の係員役の先生の質問(滞在の目的や滞在期間など)に答え、パスポートにスタンプを押してもらう。



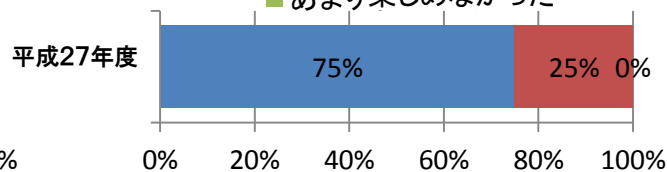
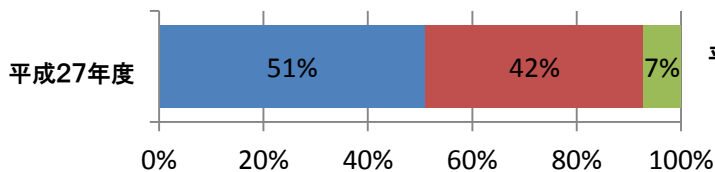
Q 「入国審査」は楽しかったですか？

※昨年度はアンケート項目になし

■ とても楽しかった
■ まあ楽しかった
■ あまり楽しくなかった

教師

■ とても楽しめた
■ まあ楽しめた
■ あまり楽しめなかった



児童の声：

- ・ 入国審査では少し間違えたけどはきはきと答えられた。

アンケートから抜粋

⇒ ライブ授業等で事前に受け答えを練習したこともあり、児童は先生に聞かれたことに堂々と答えることができた。

2 マナーハウスツアー

平成26年度は「スタンプラリー」を実施。広大な敷地内を回り時間や天候等の影響を受けたので、平成27年度はネイティブの説明を聞きながら屋敷内を探検するという企画に変更。4カ所でクリスマスに関する三択クイズも加えた。

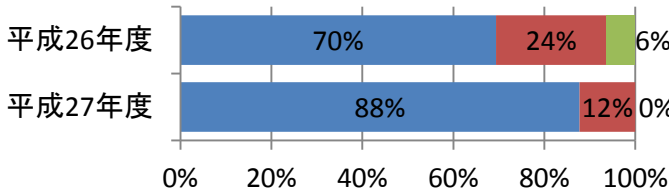


Q 「マナーハウスツアー」は楽しかったですか？

※平成27年後「スタンプラリー」と比較。

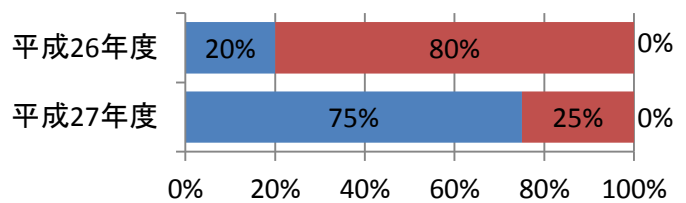
児童

- とても楽しかった
- まあ楽しかった
- あまり楽しくなかった



教師

- とても楽しめた
- まあ楽しめた
- あまり楽しめなかった



児童の声：

- ・ 特に楽しかったのは、みんなでマナーハウスツアーに行ったこと。みんなとの交流が深められたと思います。
- ・ プリティッシュヒルズを探検するところがごうかな部屋もあって楽しかったです。
- ・ いろいろな物を紹介してくれたのが楽しかった。
- ・ マナーハウスでのクイズが楽しかった。

フリーアンサーから抜粋

⇒ 聞き取りが難しい？との懸念をよそに、児童にも教師にも評価がよかった。館内で異文化に触れたことは児童の知的好奇心を刺激したようである。

3 「買い物体験」

平成26年度に引き続き館の買い物。まず両替体験をしてから、土産屋で館を買った。

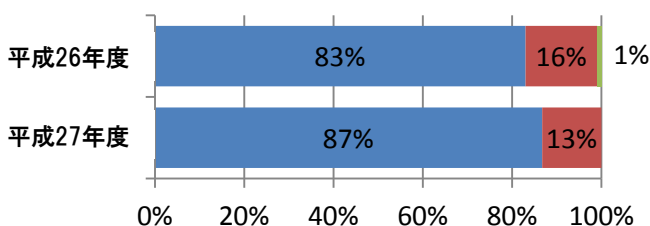
昨年度は店への移動時間、待ち時間が長くロスが発生したため、今年度は両替場所、買い物場所、買い物方法を変更し、さらに待機場所にて英語のクイズを実施した。



Q 「買い物体験」は楽しかったですか？

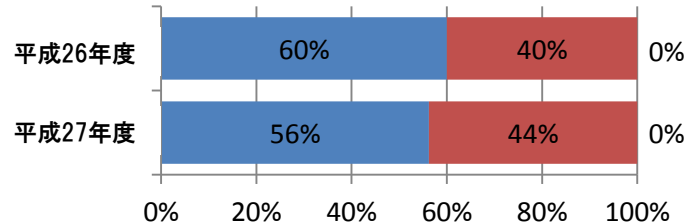
児童

- とても楽しかった
- まあ楽しかった
- あまり楽しくなかった



教師

- とても楽しめた
- まあ楽しめた
- あまり楽しめなかった



3 「買い物体験」続き

児童の声：

- ・ 買い物体験は今年はスムーズにいったし選べたのでとても楽しかった。
- ・ たとえば、100円を1ドルに換えるとき元気よく言えた。
- ・ お金を外国のお金に換えたりするなどのことが楽しかった！！

教師の声：

- ・ 買い物の体験は、あめを選ぶ以外にもう少し体験的なことがあればより楽しいと感じた。
- ・ 買い物は時間がもう少しあれば、買い物での会話が多くもててなおよかったと思います。

フリーアンサーから抜粋

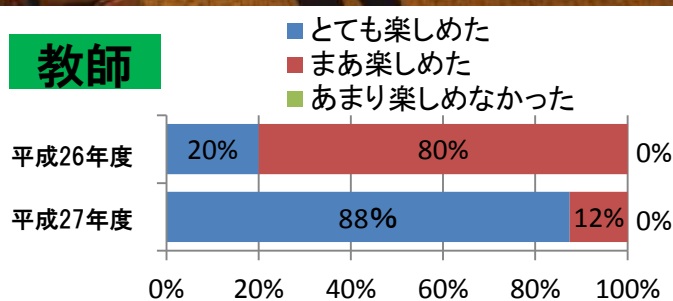
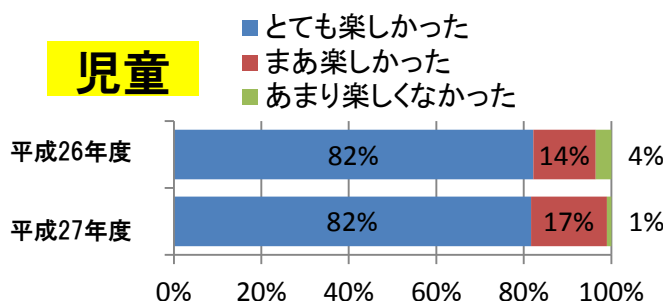
⇒ 待ち時間が昨年度より減り、児童の「楽しかった」という評価が上がった。

4 英会話レッスン

平成26年度は着席型のレッスンだったが、今年度は、インプットした英語表現を体を動かしながら覚えていくゲームスタイルに変更。昨年度よりも十分に時間をとり、40分2コマのレッスンとした。



Q 「英会話レッスン」は楽しかったですか？



児童：

- ・ 英会話レッスンで外国人の先生と色々なゲームを体を使ったりしてやったことが楽しかった。
- ・ 英会話レッスンが楽しくって、もう一回やりたかった。

教師：

- ・ 英会話レッスンではいろいろなゲームがあったのでとても楽しそうだった。楽しかったので、自然と英会話も(少しですが)身に付いたように感じました。
- ・ 英会話レッスンは楽しみながらできたので大変効果があったと思います。

フリーアンサーから抜粋

⇒ 児童の「楽しくない」が減り、教師の評価が大幅に上がった。体を動かすゲームが多かった点が児童にも教師にも好評だったと言える。

5 「みんなが住む日本(Japan)を紹介しよう」

自分のチームのテーマ(食べ物・観光地・文化)から1~2つを選び英語で発表。ネイティブの先生に相談しながら各自のプレゼンシートを完成し、チームでプレゼンの練習をした後、最後に全体の前で発表した。

今年度はチームの人数を減らし一人一人の活動時間を増やした。また、プレゼンに至るまでの段階を下記のように明確にした。

- Step1** チームごとにテーマを選ぼう。
- Step2** チームで話し合い、一人一つ紹介するものを決めよう。もう一つ自分で考えたものを紹介することにもチャレンジしよう。
- Step3** 自分なりの感想を添えよう。
- Step4** 発表するフレーズを練習しよう。
- Step5** チームで発表しよう。
- Step6** 先生が感想を言うから聞こう。

⇒選ばれたチームは全員の前で再度発表する。

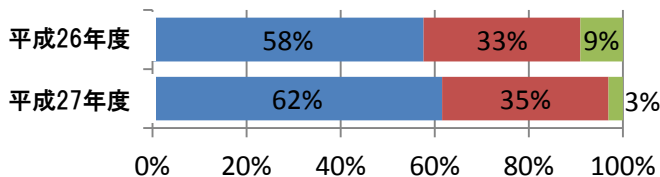


※プレゼンシートの例は巻末の「資料」参照。

Q 「みんなが住む日本を紹介しよう」は楽しかったですか？

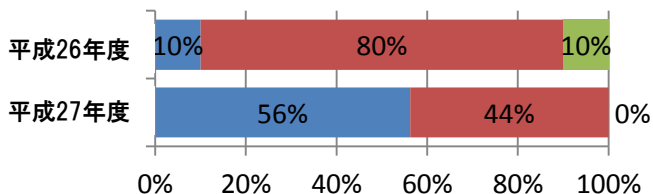
児童

- とても楽しかった
- まあ楽しかった
- あまり楽しくなかった



教師

- とても楽しめた
- まあ楽しめた
- あまり楽しめなかった



児童の声：

- ・自分たちで工夫して英語で発表したのが楽しかったです。
- ・プレゼンテーションで英語がスラスラ言えた。
- ・英語で自分の住んでいる国の食べ物を紹介したことが楽しかった。
- ・この体験を通して簡単なプレゼンができるようになった。
- ・英語で日本を紹介したり、紹介してもらったりしてとても面白く楽しかった。分かりやすく教えてくれたので楽しかった。
- ・日本の紹介をしたことで詳しくこの国を知ることができました。聞くのも紹介するのも楽しかったです。

教師の声：

- ・「みんなが住む日本を紹介しよう！」では自分が紹介したいものを自分で考え、伝え方も子どもたち自身で考えていて、自信がついたと思う。
- ・プレゼンでは強調したところを意識して表現できるようになった様子を見ることができました。

フリーアンサーから抜粋

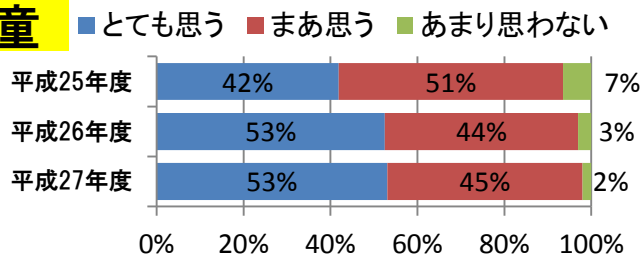
⇒ 与えられた題材でなく自分が伝えたい題材に挑戦する児童も見られ、全チーム、全員、堂々と発表ができた。その結果、数値も児童・教師ともに昨年度より評価が向上した。この活動を通して、自国の良さを再認識でき、国際理解の第一歩となった。

平成27年度異文化体験活動（宿泊研修）のまとめ

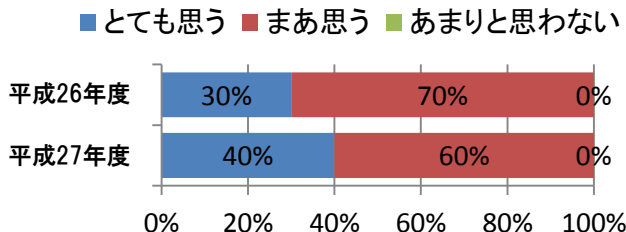
1 英語学習の効果実感

Q 今年度受けたインターネットを通じてのライブ授業や今回の宿泊研修で英語ができるようになったと思いますか？

児童



教師



児童の声：

- ・ 相手がいさづをしてきたら自分もかえすということができた。
- ・ 英語の発音が良くなった。
- ・ 英語で質問をスラスラといえるようになった。
- ・ 最初より今のほうが英語がわかるようになった。
- ・ いろいろな英語ができてとても役に立った。分からない英語がくわしくできた。
- ・ 分からない言葉もどんどん覚えていって階段を上げる下がるなどの知らない英語を覚えることができた。

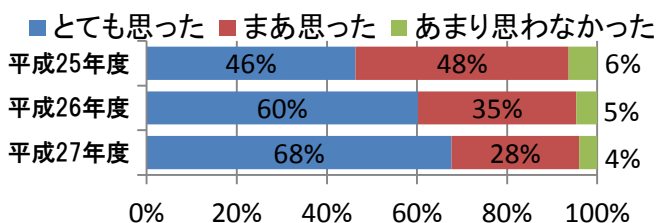
フリーアンサーから抜粋

⇒ 宿泊研修を通して、児童たちは日頃の英語の学習の成果を感じ、異文化を体験し、さらに英語を学ぶモチベーションを高めることができた。また、別の学校で英語を学ぶ仲間と過ごすことでもコミュニケーション力が向上したと言える。

2 英語学習への意欲

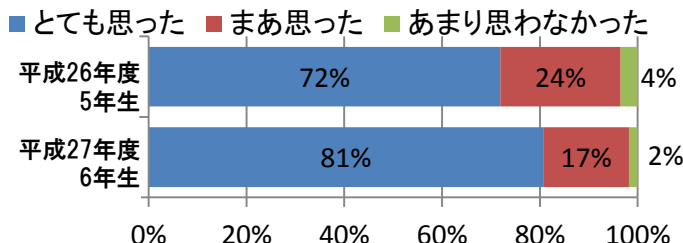
Q これからもっと英語をがんばりたいと思いましたか？

児童



同じ児童の回答比較

(平成26年度5年生→平成27年度6年生の変化)



児童の声：

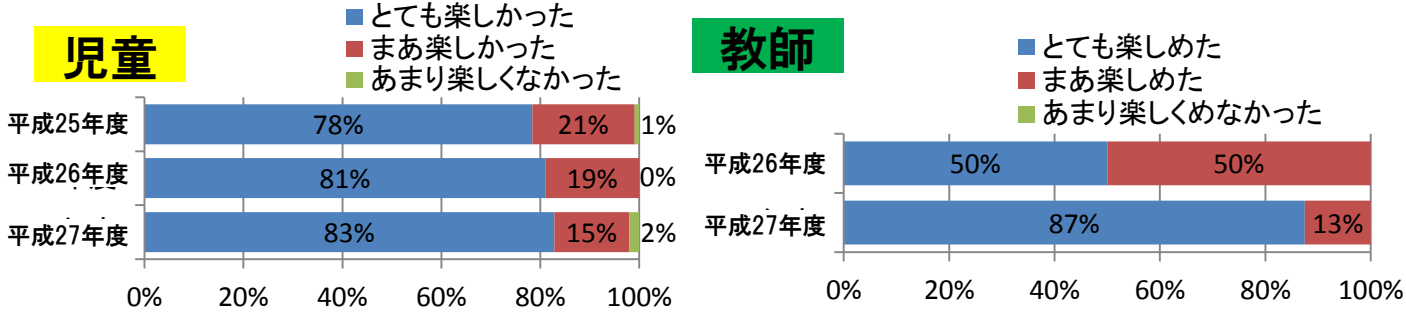
- ・ 他の人に英語を教えられるようになった。
- ・ 最後まであきらめずにできてよかった。
- ・ えいごはあまりできなかったから、今からでもできるようにしたい。

フリーアンサーから抜粋

⇒ はじめは緊張していた児童たちがどんどん環境に順応し、英語を吸収し、積極的にコミュニケーションする姿に成長を感じる事ができた。最後のプレゼンテーションでは児童たちが持つ可能性を大いに感じる事ができた。

3 ALL ENGLISH体験への評価

Q 外国人の先生と英語で話したり、英語アクティビティができたりして、楽しめましたか？



児童の声：

- ・ 外国の人と意外にけっこうしゃべれて緊張がなくなった。
- ・ 日本語をしゃべらない人と話すことがまったくなかったので一緒にしゃべれてすごく楽しかったです。

教師の声：

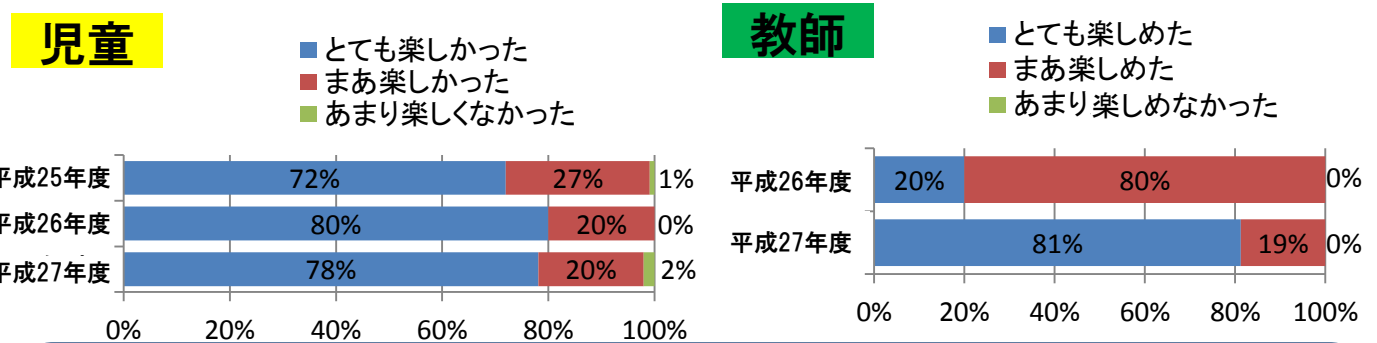
- ・ 本校の5-6年生はライブ授業には参加していませんが、英語にどっぷりとつかる2日間で感覚はとても養われたと思います。
- ・ 学習のレベルも適当で、考えるだけでなく動きながらの活動もあり、英語の楽しさがわかる内容だった。

フリーアンサーから抜粋

⇒ 「とても楽しかった」が8割以上を占めた。英語づけの2日間であったが、子どもたちは充実した時間を過ごせたようである。

4 「全体学習」への評価

Q ほかの学校の児童たちといっしょに英語学習ができて楽しかったですか？



児童の声：

- ・ 他の学校のお友達と一緒に英語を勉強し仲良くなって楽しくできたことが良かった。
- ・ 活動班の人たちと楽しく会話したり、遊んだりしたのが楽しくてよかった。
- ・ プレゼンテーションやご飯の時などに話し合ったり協力して班のみんなと仲良くなれてものすごく楽しかったです。

教師の声：

- ・ 混合班がよかった。
- ・ 他校の児童との交流がよかった。
- ・ 他校の友だちと英語を通して交流ができ、また大勢の前で発表するといった貴重な体験をさせていただいた。

フリーアンサーから抜粋

⇒ 異なる学校の児童でグループを編成し、そのグループで全活動に取り組ませたことで、昨年度よりも教師の評価が大幅に向上した。児童も他校の児童と一緒に過ごせた時間を楽しんだようである。こういったところでもコミュニケーション能力の「素地」が育まれたと言える。

自主学習をサポートする学習教材(BE-GO)・ アセスメント受検(BE-GO検定)



5年生はBE-GO(Let's Talk)を、6年生はBE-GO(Step Up)を1年間、自主学習にて活用した。

また、ライブ授業や異文化体験活動、BE-GO学習等の成果をはかるために、2月にBE-GO検定を受検した。5年生は4級、6年生は3級を受検した。



受検後に認定証とメダルを授与し、一年間のがんばりを認め、次の学びへの動機付けをした。



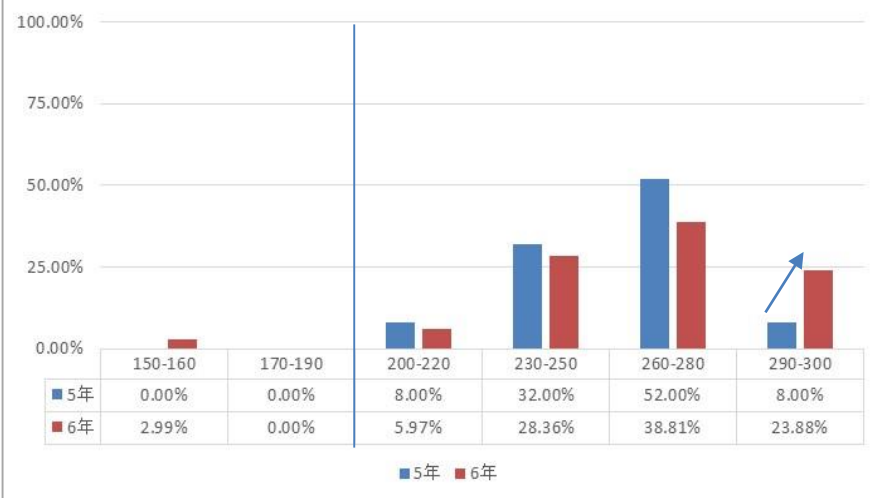
1 BE-GOコース内容

| | 単語数(例) | フレーズ数(例) | 学習項目 |
|------------|---------------------------------|------------------------------|--------------------|
| Let's Talk | 身につけられる語数:約250 ふれられる語数:約2000 | 身につけられる数:約72 ふれられる数:約2500 | 中学3年間で学ぶ範囲の約55%程度※ |
| Step Up | 身につけられる語数:約200 ふれられる語数:約2500 | 身につけられる数:約60 ふれられる数:約3000 | 中学3年間で学ぶ範囲の約80%程度※ |

※ 主要3教科書で取り上げる文法項目とBE-GOの中で登場する文型の重なり度合いより算出

2 BE-GO検定結果

学年別得点分布



- ・ 検定は300点がフルスコア。200点以上が合格ラインで、190点以下は「準級」合格として認定証を発行。
- ・ 5年生は50人、6年生は67人が受検。
- ・ 5、6年が受けた検定は内容が異なるが、6年生のほうが290～300点(満点)台に15%多く、学習を積みあげてきた成果が見受けられる。

⇒ 5年から6年へと学習を積み重ねていくことで英語力も高まったと言える。

3年間の事業を通して

「分かった！」「通じた！」

ブリティッシュヒルズにおける宿泊研修での子どもたちの歓声が、この事業の3年間の成果を端的に表している。関係の皆様のご尽力もあり、3年間でより効果的で効率的な活動が展開できる事業となった。

特に、12月のブリティッシュヒルズ研修は年を経る毎に充実した実践活動の場となった。ライブ授業や教室での外国語活動で学習したことを試す絶好の機会であり、そこで感じる「通じた」「分かった」という成就感が次の学習への強力な動機づけとなっている。ライブ授業自体も12月の研修を目標にして意図的に設計され、相乗効果を生み出している。いろいろな文化的背景を持つ複数のALTとの出会いもライブ授業の醍醐味である。

BE-GOやBE-GO検定は、散発的になりがちな活動を楽しくまとめたり、到達度を客観的に知るよい指標となった。

いわき市立久之浜第二小学校長 二瓶 浩治

この事業で一番効果があったことは、子どもたちの異文化への興味が高まったことである。本校の児童は地域性か外へ出ることや外の様子を知ることにとっても苦手意識があった。しかし、この事業を進めるうちに、他国への興味が高まっていることが目に見えて明らかになってきた(例、他国の国名を覚える、他国の言葉を使いたがる、自主学習で英単語やローマ字の練習が増える など)。

教師(私自身)の変化としては、「意識が変わったこと」である。外国語活動の授業をどう行っていくか色々悩むこともあったが、ライブ授業の様子を見て、どのように進めていくと子どもたちが理解するのか、どのようなことに注意すればよいのかが明確になってきた。今後の外国語活動に活かしていきたい。

最後に、この3年間本当に貴重な体験をさせていただきありがとうございました。子どもたちが英語の力だけでなく様々な力を身に付けていくのを目の当たりにし、私自身も大変勉強になりました。素晴らしい内容を提供してくださったベネッセの皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

いわき市立久之浜第二小学校 斎藤 敦

平成25年から始まりました3年間の「小学生外国語活動・異文化体験活動充実事業」は平成27年度3月をもって無事に終了しました。日々の外国語活動・学習としての「ライブ授業」と「BE-GO」教材の活用。日々の外国語活動・学習の成果を発揮する場としての「異文化体験活動(宿泊研修)」と「BE-GO検定」を実施してきました。

「ライブ授業」ではインターネットを通じて様々な外国(アメリカ、カナダ、オーストラリア等)の先生による英会話の活動を実施してきました。子どもたちは英語を聞くことに慣れて、既習の単語を探して会話をする、外国人先生の自国の文化や歴史を紹介すること、さらに日本との比較の中で世界の文化に親しむことができるようになりました。福島やいわき、川内村の英語での紹介活動を通じて、復興の一助となるような、自分たちの郷土の良さを再確認できたものと思います。

「BE-GO」ではゲーム感覚で英語活動ができます。見る、聞く、話す、読む活動を楽しんでいた様子が印象的でした。パソコンと1対1で取り組める、個別に進めることのできる自習用教材を楽しく活用していました。

「異文化体験活動(宿泊研修)」では実施校の子どもたち同士の交流もありました。英語漬けの時間と空間の中、どうにか耳を澄まして英語を聞こうとする努力をして、人前で話すことに自信を深められた活動だったと思います。

「BE-GO検定」では最後の学習成果を試す機会となり、満足感や達成感を味わい、子どもたちは自信をもって、この活動を卒業できました。

目を輝かせて外国語活動に必死に取り組む子どもたちの姿を見ることで先生方も意識がかわってきたと、ある校長先生が仰っていました。事業を進めるにつれて英語を好きになる子どもたち、また世界で活躍したいと答える子どもたちが増えてきました。福島やいわき、川内を英語でもっと紹介したいという子どもたちもいました。

事業推進校の子どもたちや先生、保護者の方、地域の方、県教育委員会の先生方、そしてベネッセと官民連携がスムーズに図られたことが大きな成果につながったと思っております。子どもたちの活動の様子からみえた評価、成果と反省、先生方とベネッセとの協議や確認、反省の場の中での事業への創意工夫ができて事業の成長もありました。

ベネッセのスタッフは事業を進める中で常に意識していた目標があります。迷い、立ち止まった時によりどころにした本事業の目標です。

「民間事業者のノウハウを活用し、初めて外国語に触れる小学生を対象として、外国語の学習や異文化体験を通して、コミュニケーション能力の素地を育成するとともに国際感覚を養うことにより、未来を担うふくしまの子どもを育成する。」

本事業を通して、この目標を実現することの一助となれたことを誇りに思っております。この場を借りて、関係のみなさま方に心より感謝申し上げます。

資料 プレゼンのワークシートの一例

▼ 左の列が表面。こちらを児童に見せます。右のが裏面で表現のヒントが書かれています。紙芝居スタイルです。ネイティブの先生から発音やアイコンタクトや声の大きさなどについてアドバイスしてもらいながら最後はできるだけ裏面を見ないで言えるように練習した。フリーシートを利用して自分で描いた絵でプレゼンする児童もたくさんいた。




TOURIST SPOTS
of
JAPAN
 1

<発表の題名>
 リーダーが
 せーの、と言ったら
 全員で声をそろえて
 大きな声で言います



TOURIST SPOTS
of
JAPAN
 1

Tourist spots
 of Japan.
 (日本の観光地)

読み方は先生に
 聞きましょう



In Japan, you can see
Himeji Castle.

ちよつと 豆知識
 シラサギが羽を広げたような姿から、姫路城は「しらさぎ城」とも呼ばれています。真っ白い城壁(じょうへき)は空の青に映えるほどあざやかです。建物は修復されていますが、大天守は400年以上前のもの。姫路城では、宮本武蔵が天守にいるようかいを退治した逸話(いつわ)が残っています。

表面の _____ は カタカナで書いてもいいよ。

<Himeji Castle>

発表する人が、
 一歩前に出て、
 大きな声で言います。

発表する文章をおぼえて、
 聞く人の顔を見ながら
 言ってみましょう。



In Japan, you can see
Himeji Castle.

ちよつと 豆知識
 シラサギが羽を広げたような姿から、姫路城は「しらさぎ城」とも呼ばれています。真っ白い城壁(じょうへき)は空の青に映えるほどあざやかです。建物は修復されていますが、大天守は400年以上前のもの。姫路城では、宮本武蔵が天守にいるようかいを退治した逸話(いつわ)が残っています。

This is Himeji Castle.
 これは姫路城です。

In Japan, you can see Himeji Castle.
 日本では姫路城を見ることができます。

It's so **great!** とってもすばらしいですよ!

Great を自分の好きな言葉に変えてもいいよ。
 白い white 美しい beautiful

●
The
FOOD
of
JAPAN

▼ 日本の「食べ物」を紹介するプレゼンシートの例



In Japan, you can eat sushi.

ちよつと 豆知識

外国人が好きなネタはマグロ・サーモン・エビ・卵焼きなどだそうです。日本では海外にない魚や貝、魚卵を食べることができるため、日本ですしを食べることは、外国人観光客に人気です。海外には、エビ、アボカド、マヨネーズなど入れたカリフォルニアロールやマンゴー寿司などがあります。



In Japan,
you can make okonomiyaki.

ちよつと 豆知識

お好み焼きの起げんは茶道で有名な千利休がつくらせた「麩(ふ)の焼き」というお菓子でした。そこから中にみそを入れて焼くなど進化し、甘いものは「どら焼き」に、塩味のものには様々な形をかえて「お好み焼き」になりました。海外の人たちにはこの甘いソースが人気で、日本のピザ、という人もいます。

●
The
CULTURE
of
JAPAN

▼ 「日本の文化」を紹介するプレゼンシートの例



In Japan, you can wear
the kimono.

ちよつと 豆知識

明治時代、西洋の服装を「洋服」と言ったのに対し、日本の服装を「着物」「和服」と呼びました。現在では、着物の着付け体験が外国人観光客にとっても人気があり、着物や浴衣を買う人もいます。外国人の中には、着物や羽織をナイトガンやジャケットの代わりに着る人もいます。



In Japan, you can try
a Ninja lesson.

ちよつと 豆知識

忍者(にんじや)とは忍術を使う人のことを言います。三重県伊賀地方と滋賀県甲賀地方を中心に様々な技が発達したものが忍術です。忍者は「忍(しの)び」とも呼ばれ、戦場においてスパイのように情報収集をし、要所したり、探(たん)りのようなことをし、江戸時代には火や薬を使ったようです。

ライブ授業・異文化体験活動(宿泊研修)の様子



平成25年～27年度小学生外国語活動・異文化体験活動充実事業

成果報告書

平成28年3月

発行： 福島県教育委員会
株式会社ベネッセコーポレーション

Fukushima Prefectural Board of Education

福島県教育委員会

<http://www.gimu.fks.ed.jp/> (義務教育課)